

NABESHIMA GROUP
COMPANY PROFILE

求められることに 応え続けた先代たち

ナベシマ・グループのルーツをたどると、1908(明治41)年、岐阜県高山町上一之町(現在の高山市)に「鍋島甚三郎商店」を創業した甚三郎の父、鍋島甚兵衛にまでさかのぼります。甚兵衛は明治の初め、生誕の地である旧丹生川村から筑摩県(当時の名称)、現在の長野県松本市に出て、商いを勉強しました。「行商を始めれば、故郷の高山との交流にもつながる」と思い立った甚兵衛は、お客様から「今度、来るときに持ってきて欲しいもの」を聞き、それに応えるというスタイルで商売をしていました。

この「人に求められることに、応じる」という甚兵衛の経営哲学を受け継いだ甚三郎が、高山で緑茶を販売する店「鍋島甚三郎商店」を創業したのです。

近代化の流れで、緑茶が一般的に飲まれるようになった時代でした。とはいえ、創業当初は店の知名度が低かったこともあり、やっと雇い入れた店員と共に、大八車に茶を積んで一軒ずつ訪問して販売をしていたようです。こうした身を粉にした仕事ぶりが少しずつ認められ、事業として安定することができたのです。

お茶の販売から 事業が広がっていった理由

甚三郎はひと言でいうと「興味のあることは、なんでもやりたい性分」だったようです。町の経済発展のために新しい事業が必要であると考え、その実現のためにと高山町会議員から、第一回市会議員の当選を果たしました。また、松本で学んだ肥料販売をはじめ、火薬販売、大理石の採掘、灯油やスポーツ用品の販売など、いろいろなビジネスを試みました。

スポーツ用品については、楓の木でジャンプスキーを職人に作ってもらい、品評会に出展。見事、入選を果たして意気揚々としていたようです。こうして、明治から大正、昭和初期にかけて、様々な事業へとつながって参りました。

百年の歳月を越え、
ナベシマ・グループに
世代を超えて受け継がれる
伝統の経営哲学

今日のナベシマ・グループへとつながる ターニングポイントとなった火薬取引

当時、鍋島家の遠縁が火薬商を営んでいましたが、訳あって廃業することとなりました。甚三郎に多少、火薬の知識があったことから後継を託され、昭和2年に火薬商の許可を得て、銃砲火薬商を開業いたしました。

これを機に甚三郎は火薬製造元と直接の取引をしたいと考え、火薬製造を始めたばかりの宮崎県延岡市の日本窒素火薬株式会社(現・旭化成株式会社)にお願いするために宮崎へと出向きます。この時代、飛騨高山から延岡までは片道2〜3日の旅でした。三度目の訪問でようやく創業者の野口達氏との面会が叶い、直接、商取引ができるようになったのです。

戦時中、出征していた三代目の鍋島惇蔵の不在を、大番頭の木谷万蔵が支えました。戦後の復興期には惇蔵と万蔵がダム工事など土木建設業の需要が高まる中、業績を伸ばし、現在のナベシマ・グループの礎を築きました。

飛騨高山で事業を拡大してきた鍋島家でしたが、四代目の鍋島道雄は高山だけでの事業に限界を感じはじめます。そこで、高度経済成長に沸く東京での建設業の展開に乗り出しました。基盤のない東京で仕事をを得るのに苦心しましたが、火薬業界の手助けもあってなんとか、事業を根付かせることに成功したのです。

変わらぬ理念、変わる事業。それが100余年の ナベシマ・グループの歴史の礎

高度経済成長の波に乗って事業は拡大・成長してきたものの、四代目・道雄の時代にバブル経済が崩壊しました。このとき道雄は「これからの時代は、アメニティーな社会の創造の観点からの建設業が伸びるはずだ」と判断し、東京に根を張る決断をします。

五代目・鍋島徹哉が事業を継承したとき、日本経済は再び、不景気の波に沈んでいました。とはいえ、鍋島甚三郎商店の創業後以降、戦争、高度経済成長期、バブル崩壊と幾多の試練に遭遇してきています。その都度、時代ごとの社会背景とニーズに合わせることで乗り越えてきた先代達の経営哲学に学び、事業を統括してナベシマ・グループを創業。ホールディングスにすることで経営の基盤を立て直し、今日に至ります。

ナベシマ・グループの経営の根幹には、初代・甚兵衛の「人に求められることに、応じる」という考えが根付いていました。常に新しいモノを作り、時代に応じて姿を変えながら、社会に必要とされる企業であること。それが、私たちナベシマ・グループが継承し続けてこられた理由であり、先祖代々受け継いできた財産でもあるのだと思います。

ナベシマ・グループ 基本理念

アメニティーな社会の創造に役立つ

明治41(1908)年、鍋島甚三郎が設立した鍋島甚三郎商店の前進となるビジネスに甚三郎の父・甚兵衛が始めた行商がありました。

お客様が「欲しい」というモノを調達して売る。それが甚兵衛の商売人としての理念でした。

人に社会に求められるモノを提供する。シンプルなことですが、それは、いつの時代も変わらぬビジネスの

基本であり、鍋島家に連綿と受け継がれてきた経営哲学の3つの柱でもあります。

一、人に社会に必要とされる商売であること

一、常に新しいものを創造し挑戦し続けること

一、社会に安心と安全を届け続けること

この3つから外れることなく、世代を超えて続けて来たことがナベシマ・グループが今日まで継承することができた所以なのだと、今、実感しております。

そして、100年以上、続けてこられたことは、100年先の未来にも受け継いでゆきたい。

そして、日本の商売人の家系が受け継いできた伝統を、世界に発信していくこと。

それがナベシマ・グループの使命であると自負しております。

株式会社 鍋島商店

1908年9月1日創業
1965年9月1日設立

全社員の安定した生活とお金の安全を世界に通用するルール・仕組み作りで今できることから実行する

創業100余年の歴史と実績を活かし、ナベシマ・グループ全体の本社業務を行っています。

主な事業として、経営コンサルティングや事務受託といった受託業務のほか、独自の研修プログラムを採用

した人材教育・研修をはじめとする経営・運営のトータルコーディネート。不動産、損害保険の取り扱いや、

ナベシマ・グループの新規事業の開発、立ち上げ、運営なども鍋島商店の主な事業内容です。

業 務 内 容

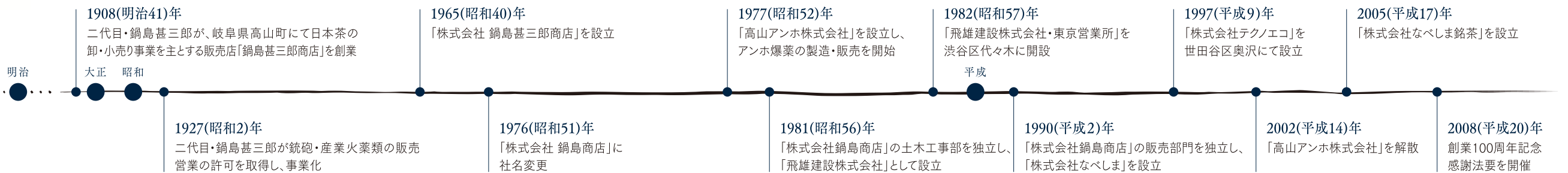
- ナベシマ・グループ5社の統括および本社機能
- 次世代型教育を主軸とする教育・研修
- 経営コンサルティング、事務受託、コンピューターシステム開発・管理
- 不動産賃貸管理
- 損保ジャパン日本興亜株式会社高山中央代理店
- 新規事業の開発管理(紅茶畑、素材開発等)



【所在地】〒506-0045 岐阜県高山市赤保木町233番地 TEL:0577-34-1226 FAX:0577-35-1141

NABESHIMA HISTORY

初代 鍋島甚兵衛が
行商をはじめ



当時の主な出来事

1908年	第4回夏季オリンピックがロンドンで開幕	1976年	アップルコンピュータ設立(現・アップル インコーポレイテッド)	1982年	映画『E.T.』が日本で公開。当時、日本と世界で史上最高の興行収入を記録	2002年	ユーロ紙幣とユーロ硬貨の流通開始
1927年	チャールズ・リンドバーグが大西洋の単独無着陸飛行に成功	1977年	アメリカでジミー・カーターが大統領就任	1990年	ミハイル・ゴルバチョフがソ連初代大統領就任	2005年	アメリカでジョージ・ブッシュが2期目のアメリカ合衆国大統領に就任
1965年	アメリカの宇宙船ジェミニ6-A号と7号が初のランデブー飛行に成功	1981年	アメリカでロナルド・レーガンが大統領就任	1997年	香港がイギリスから返還される	2008年	アメリカ合衆国大統領選挙にてバラク・オバマ候補が圧勝。当選を果たす



安全で円滑な物流・サービスを通じ、地域社会に新しい視点や価値観を提案し、人・企業の発展をサポートする

株式会社 なべしま

1990年3月1日設立

創業以来の中核業務である火薬類・化成品の販売業務を主に担っております。近年、とくに注目が集まってきている安全と環境問題の課題に向き合いながら、安心してお使いいただける商品・製品を提供していくことをモットーとしております。とくに、包装資材や保安用品は使う人にも優しい製品であることを重視しています。

業 務 内 容

建設環境部

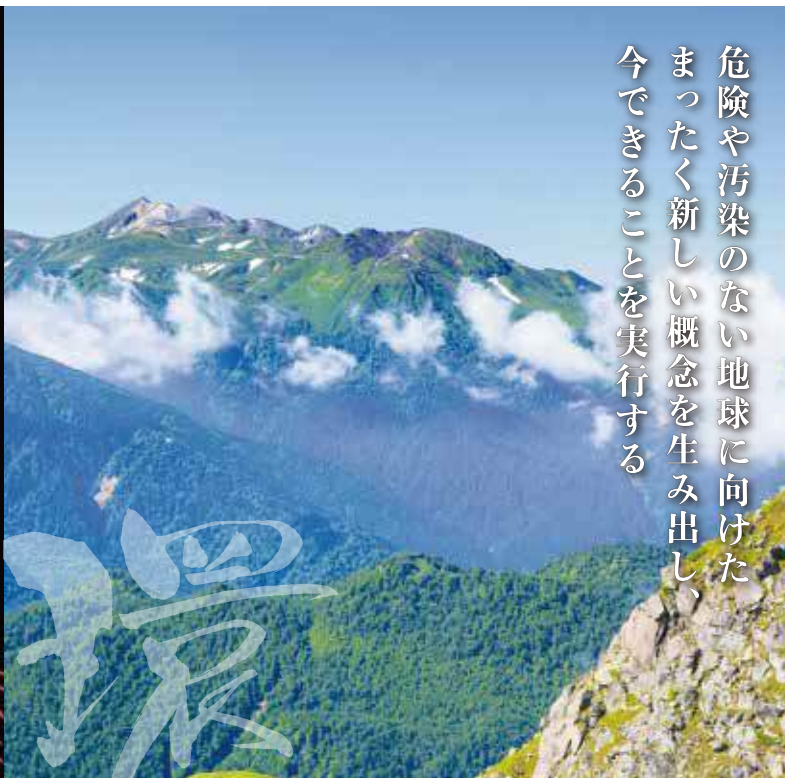
- 銃砲関連商品 ○ 産業火薬 ○ 煙火(打上げ花火)の施行
- 玩具花火 ○ イベントの企画 ○ 催事レンタル

物流販売部

- 包装資材、包装機械、物流機器の販売 ○ 食品衛生用品の提案



【本社】〒506-0045 岐阜県高山市赤保木町233番地 TEL : 0577-34-3200 FAX : 0577-34-3202



危険や汚染のない地球に向けた、まったく新しい概念を生み出し、今できることを実行する

株式会社 テクノエコ

1997年6月23日設立

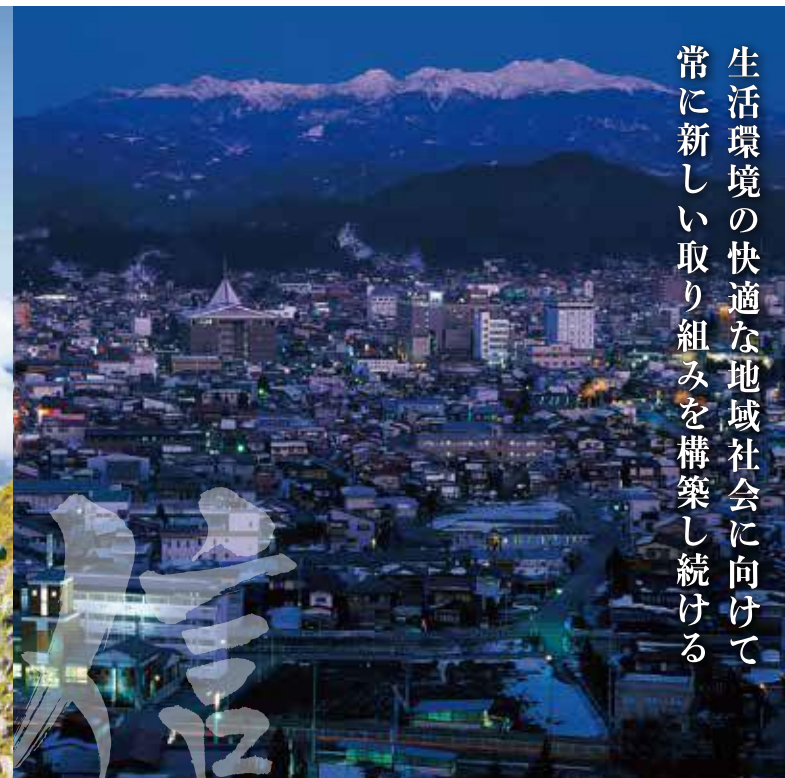
「アメニティな社会の創造」をテーマにした事業を行っております。自然や環境への負担を軽減し、青い空・きれいな水・おいしい空気、きれいな地球・安全な環境を守ること。そして、人々の笑顔があふれる環境を、未来のために創造する環境循環型企業として、土木・建築・設計・リサイクル事業に取り組んでいます。

業 務 内 容

- 一級建築士による、内装・店舗設計等 ○ 土木工事 ○ 山留工事
- 地盤改良工事 ○ アンカー工事 ○ 解体工事 ○ 発破・粉砕工事
- リニューアル工事 ○ 各種調査工事 ○ 廃ガラスリサイクル事業



【本社】〒158-0086 東京都世田谷区尾山台1-17-16 TEL:03-3705-6160(代) FAX:03-3704-0645
【高山支店】〒506-0045 岐阜県高山市赤保木町313 TEL:0577-35-0815 FAX:0577-35-2822
【飛騨高山ガラス資源リサイクル工場】〒506-0101 岐阜県高山市清見町牧ヶ洞字三尾11番地



生活環境の快適な地域社会に向けて常に新しい取り組みを構築し続ける

飛雄建設 株式会社

1981年3月1日設立

解体工事をはじめ専門工事を得意とする総合建設会社です。設立以来、安全と環境保全に細心の注意を払うことを第一に事業を展開して参りました。とくに解体工事では、飛騨地域のほか、東京都の行政・官公庁からのご信頼もいただいており、環境負荷の少ない工法を推進しております。

業 務 内 容

- 建築物解体工事 ○ 産業廃棄物収集運搬 ○ 一般土木工事



【本社】〒506-0045 岐阜県高山市赤保木町313 TEL : 0577-34-3203 FAX : 0577-35-2822
【東京支店】〒158-0083 東京都世田谷区奥沢8-9-4 TEL : 03-3705-6188 FAX : 03-3704-0645



お茶を世界に向けてゼロからの創造・発想で発信する

株式会社 なべしま銘茶

1908年9月1日創業
2005年6月1日設立

ナベシマ・グループの礎であるお茶にまつわる事業を創業当時の面影を大切にしながらグループ発祥の地で営んでおります。緑茶だけでなく、地元のA等級大麦を100%使用した飛騨むぎ茶、温泉で作り上げる純国産の飛騨紅茶などを取りそろえています。高品質の茶葉をお手頃にお求め頂けることからご好評いただいております。

業 務 内 容

- お茶全般(煎茶、ほうじ茶、玄米茶等)、ウーロン茶、飛騨紅茶、飛騨麦茶、各種健康茶の茶葉販売
- 茶道具の販売
- 煎茶教室(全日本煎茶道連盟「松風流」師範による煎茶教室)



【本社】〒506-0843 岐阜県高山市下一之町12番地 TEL : 0577-32-4086 FAX : 0577-34-7785

